



# 岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

令和4年1月18日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ キョクリュウガクササエアイスイシンキ  
ヨウギカイ

団体名 旭竜学区支え合い推進協議会

所在地

連絡先

フリガナ ヤシロ タケトシ

代表者氏名 会長 八代 武利

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。  
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) <input checked="" type="checkbox"/> 地域課題解決 <input type="checkbox"/> 地域課題掘り起し <input type="checkbox"/> 地域計画づくり <input type="checkbox"/> 地域課題解決型の地域組織づくり <input type="checkbox"/> その他
事業名称	旭竜助け合い隊推進事業
事業実施区域(小学校区)	旭竜学区
事業実施回数	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続    2回目(令和3年度から)
課題	平成31年2月、学区内在住の65歳以上の人を対象にアンケート調査を行った。その結果、地域の高齢者が、日常の生活の中で、ちょっとしたことで困っていることや、不便だと感じていることが多くあることが分かった。 病院付き添い、買い物、ごみ出し、草取り、家事手伝い、庭の片付け、庭木の剪定、電球の取り替えなどである。 これらは介護保険サービスの適用にならないものが多く、介護保険制度を補完するものとして、地域でサポートする必要がある。
事業の目的	(1) 高齢者にやさしいまちの創造 (2) 高齢者の困りごとの解消 (3) 介護保険制度の補完 (4) 「いつまでも住み続けたいと思う」まちづくり (5) ボランティア精神の涵養 (6) ボランティア活動による生きがいの発見と認知症の予防

事業の内容・感染防止対策の内容	<p>(事業の内容)</p> <p>前記のような課題の解決と目的のため、令和2年7月、「旭竜助け合い隊」を創設し、同年9月1日から事業をスタートした。令和4年度は3年目に当たる。</p> <p>その事業は次のとおりである。</p> <p>病院付き添い、買い物、ごみ出し、草取り、家事手伝い、庭の片付け、庭木の剪定、電球の取り替えなどの支援を希望する場合、助け合い隊のコーディネーターへ電話をし、電話を受けたコーディネーター(4名、1週間で交代)が、登録したサポーター(25名)に電話をし、日程調整をしたうえで、要支援者をサポートするものである。</p> <p>(実施する感染防止対策の内容・方法)</p> <p>(1) 作業に従事する前に、手指のアルコール消毒と検温を行う。</p> <p>(2) 会議においても、会議室に入る前に、手指のアルコール消毒と検温を行う。</p>
期待される成果・目標	<p>(1) 高齢者の困りごとの解消</p> <p>(2) 介護保険制度の補完</p> <p>(3) ボランティア精神の涵養</p> <p>(4) ボランティア活動による生きがいの発見と認知症の予防</p>
企画などの工夫	<p>令和3年度は、マグネットシート、ミニコミ誌を全戸に配布してPRしたが、まだまだ制度を知らない人が多い。</p> <p>令和4年度もミニコミ誌、機関誌を作成し、全戸に配布する。</p>
協働する団体等	<p>(1) 旭竜地区民生委員・児童委員協議会</p> <p>(2) 旭竜地区社会福祉協議会</p> <p>(3) その他、事業実施メンバーのとおり</p>

事業の 情報公開	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 機関誌の発行（年1回程度）</li> <li>(2) ミニコミ誌の発行（年1回）</li> <li>(3) 公民館だよりへの掲載</li> </ul>
学区地区への 広がり	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和2年8月、学区内全戸にチラシを配布した（約2,100枚）</li> <li>(2) 令和3年5月、マグネットシートを全戸に配布した（約2,100枚）。</li> <li>(3) 令和3年9月、ミニコミ誌を全戸に配布した（約2,100枚）。 高島公民館にも置いた（50枚）。</li> <li>(4) 令和4年2月、機関誌発行予定</li> <li>(5) 令和4年2月、市民のひろばおかやまに掲載予定</li> <li>(6) 令和4年9月、ミニコミ誌発行予定</li> <li>(7) 令和5年2月、機関誌発行予定</li> </ul>
前年度からの 見直し拡充点	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 現在、コーディネーターは4名である。できれば、もう2名増やしたい。</li> <li>(2) 現在、サポーターは25名である。できれば、30名にしたい。</li> </ul>
次年度以降の 予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 次年度以後の活動計画 旭竜助け合い隊事業を継続する。</li> <li>② 資金の確保について <input checked="" type="checkbox"/> 次年度も区づくり推進事業を申請する予定</li> </ul>
その他PR したい点	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) まちづくりの一環であること。</li> <li>(2) 「福祉の町・旭竜」を一層充実させるものであること。</li> <li>(3) サポーターは、ほとんどの人が65歳以上で、高齢者の生きがいになり、認知症の予防になること。</li> </ul>

事業スケジュール

月 日	活 動 内 容
4月	助け合い隊サポート事業 支え合い推進協議会
5月	助け合い隊サポート事業 助け合い隊会議
6月	助け合い隊サポート事業
7月	助け合い隊サポート事業
8月	助け合い隊サポート事業
9月	助け合い隊サポート事業 ミニコミ誌発行
10月	助け合い隊サポート事業
11月	助け合い隊サポート事業 支え合い推進協議会
12月	助け合い隊サポート事業 助け合い隊会議
1月	助け合い隊サポート事業
2月	助け合い隊サポート事業 機関誌発行
3月	助け合い隊サポート事業

# 収支予算書

◆収入

単位:円

項 目	決算見込み額	予 算 額	内 容
岡山市補助金	194,000	66,000	(100円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	24,406	60,000	
連合町内会補助金	46,000	0	
協賛金		0	
雑収入	0	0	
計	264,406	126,000	

◆支出

単位:円

項 目	決算見込み額	予 算 額	内 容
① 消耗品費	172,000	30,000	ベスト(3,000円×5着=15,000円)、事務用品(15,000円)、
② 印刷製本費	35,000	32,000	機関誌(15,000円×1回=15,000円)、ミニコミ誌(12,000円×1回=12,000円)、コピー代(5,000円)
③ 通信運搬費	46,000	46,000	携帯電話通話料金(3,282円×12か月=39,384円≒40,000円)、切手代(6,000円)
④ 保険料	3,600	9,000	ボランティア保険(18円×500人=9,000円)
⑤ 手数料	2,530	3,000	振込手数料(3,000円)
小計(①)	259,130	120,000	
⑥ 新型コロナウイルス感染防止対策経費	5,276	6,000	アルコール消毒液、マスク、非接触型体温計
小計(②)	5,276	6,000	
支出合計(①+②)	264,406	126,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。

補助金(3/4)の概算払いを	<input checked="" type="radio"/> 希望する	<input type="radio"/> 希望しない
----------------	---------------------------------------	-----------------------------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

令和4年度上半期の事業運営費が不足するため。
------------------------

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。